

## 製品を使用する前に、製品説明書をよくお読みください

成都市極米科技有限公司（以下、「極米科技」または「極米」と略す。）の製品をご購入、ご利用いただき、ありがとうございます。お客様の安全と利益のために、製品を使用する前に、製品説明書をよくお読みください。製品の説明書または注意事項を無視し、誤った取り扱いをする事による人身障害、財産、またはその他の損害が発生した場合、極米科技は責任を負いません。

## 本製品の説明書（以下「説明書」という。）について

説明書の著作権は極米科技に所有する。

説明書に記載されている商標、商号はそれぞれの権利所有者に帰属する。

説明書の内容が実際の製品と一致しない場合、実際の製品を基準とする。

Google、Android TV および Chromecast ビルトインはGoogle LLC の商標です。

Android TVのGoogleアシスタントは、現時点ではポルトガル、ロシア、台湾、香港、マカオではまだ利用できません。

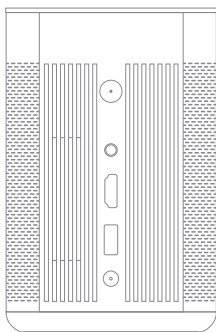
説明書の内容または条項に異議がある場合は、購入後7日以内に極米科技に書面で異議を申し立ててください。そうしない場合は、説明書の全体内容を理解し納得したことと見なします

ドルビーラボラトリーズからのライセンスに基づいて製造されています。

Dolby、Dolby Audio、Pro Logic、およびdouble-Dシンボルは、Dolby Laboratoriesの商標です。

\* モデル: XK13S

\* 極米科技は説明書の解釈及び修正の権利を有する。



POWER

AUDIO

HDMI

USB

DC IN



電源キー

メニューキー

The Google Assistant

Sourceキー

ショートカットキー

方向キー

バックキー

ホームキー

ボリューム+(\*フォーカス+)

ボリューム-(\*フォーカス-)

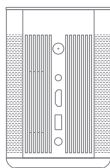
多機能スイッチ



\*多機能スイッチを左(VOL)にすると、+/-キーを押してボリュームが調節できます。

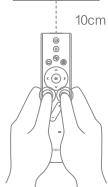
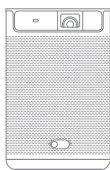
\*多機能スイッチを右(Focus)にすると、+/-キーを押してフォーカスが調節できます。

## 1 デバイスのオン/オフ



- ・ デバイスがオフのときはキーを"⊙"2秒間押し続けてデバイスをオンにします。
- ・ デバイスがオンのときはキーを"⊙"5秒間押し続けてデバイスをオフにします。

## 2 リモコンペアリング



- ・ リモコンをデバイスの10cm以内に近づけ、バックキーとホームキーを同時に押すと、LEDが点滅し、リモコンがペアモードになります (LEDが点滅したらキーを離し、LEDが点滅し続けます。「チーン」という音が鳴らしたら、接続成功と表します)
- ・ ペアリングに失敗した場合は、タイムアウト30秒で終了します。終了後に上記の手順を繰り返して操作ください

## 3 リモコン機能について

- ・ フォーカス機能

リモコンの下部にある多機能スイッチを右 (Focus) にスライドさせると、デバイスが自動的にフォーカスがトリガされ、ボリューム+/-キーを押すことで手動で調整


することがで。多機能スイッチを左(VOL)にスライドさせると、フォーカス機能がオフになり、ボリューム+/-キーでボリュームが調節できるようになります。

- ショートカット機能  
“”を短押しはショートカット機能に対応します

## 4 オートフォーカス/リモコンフォーカス

- オートフォーカス機能がオンの場合、デバイスの電源を入れたり、デバイスの位置を移動したりすると、画面が自動的にクリアまで調整されます
- リモコン下部のスイッチを右(Focus)に回すと、オートフォーカスがオンになると同時に、ボリューム+/-キーでフォーカスが調整できます

## 5 The Google Assistant

- Google Assistantはリモコンの“”専用ボタンを押すことにより起動されます。
- 声を使用して迅速にエンターテインメントにアクセス、スマートデバイスを操作、画面上に回答を表示、およびその他を行えます。



## 6 Bluetoothスピーカーモード

- 「Bluetoothスピーカーモード」であなたのデバイスを携帯型Bluetoothスピーカーに変えられます；
- デバイスがオンの状態で、設定内で「リモコンとアクセサリ」を選択して「新しいデバイスを追加」選択します；
- スマホのBluetoothで「P\_FHD\_2020」をデバイスに接続して曲を再生します

## 7 設定

- 任意のインターフェイスでリモコンの「ショートカット」ボタンを使ってデバイスや画像を設定することができます

- リモコンの下部にある多機能スイッチを右 (Focus) にスライドさせると、デバイスが自動的にフォーカスがトリガされ、ボリューム+/-キーを押すことで手動で調整
- 設定の具体的な機能は次の通りx

3D設定	ビデオソースまたは信号ソースの3D設定
画像モード	ビデオソースまたは信号ソースでの画像パラメーターの調整
画面サイズ	信号源の画面のアスペクト比の設定
音声出力	デバイスの音声出力チャンネルの設定
HDMIバージョン	デバイスの音声出力チャンネルの設定
すべての設定	その他の関連項目の設定

\* 3D設定、画像モードはビデオ再生または信号ソースチャンネルでのみ設定可能

\* 画面サイズ、HDMIバージョンオプションはHDMIチャンネルでのみ設定可能

## 8 Chromecast built-in

- PC\タブレット\携帯電話など多様なデバイスに対応
- 対応するスマホアプリの「Chromecastアイコン」ですぐにテレビにミラーリングします
- 電話をかけたりメッセージを送ったりすることで投射画面が途切れることはなく、携帯電話のバッテリー消費の心配もありません
- AndroidスマホやPC上のChromeブラウザで全画面をテレビにミラーリングできます

## 9 充電について

- 公式標準アダプタを使用してデバイスを充電してください

電源を入れたまま充電すると充電時間が長くなります

電源を切った状態でアダプタを挿入し、充電中の場合は赤ライトが点滅し、緑ライトが点灯(10秒間消灯)している場合は充電が完了していることを示します

- 長期間使用しない場合は、まず完全に充電し、アダプタが接続されていないときにデバイスの電源ボタンを5秒間押し続けてバッテリー保護モードに切り替え(このモードでは、リモコンでデバイスを起動できない)、3か月ごとに充電し、長時間の保管でバッテリーの自己放電による低電力、不可逆的な容量の損失または破損を防止します。

## システムのアップグレード

システムをアップグレードするには、最低50%のバッテリー残量または電源に接続する必要があります。

オンライン・アップグレード

システム設定でオンライン・アップグレード

## 重要な注意事項

デバイスを正しく使用するには、

- レンズを人の目に向けないようにしてください。電源を入れた後のレンズの強い光が目にはダメージを与える恐れがあります
- 機器の吸気/排気口をふさがないようにください。機器の放熱が正常に行われず、内部電子機器に損傷を与える恐れがあります
- 紙や布などの清潔道具でレンズを直接拭かないようにしてください。レンズに損傷を与える恐れがあります。レンズの表面のほこりを取り除くには、清潔なエアブローを使用してください
- 化学製品、洗浄剤または清水で設備の洗浄および雨水、湿気、ミネラルを含む液体による回路基板の腐食を防ぎます
- 子どもが手の届かない場所に機器とその部品やアクセサリを置いてください
- 設備を乾燥した換気環境で使用してください
- 機器を過熱や過冷の場所に置かないようにしてください。高(低)温は電子機器の寿命が縮まる原因となります。デバイスの保管および使用環境の温度は0~40°C
- 本設備を暖房器具(乾燥機、電子レンジなど)に入れて乾燥させないようにしてください。
- 機器の損傷を防ぐため、機器を強く押し付けたり、機器の上や背面に遮蔽物を置いたりしないでください
- 本設備を投げ出したり、たたいたりまたは強く震わせたりしないでください。内部の回路基板が破損する原因となります
- 機器を私的に取り外そうとしないでください。ご不明な点がございましたら、極米アフターサービスまでご連絡ください
- 本製品をご自分で修理しないでください。設備または部品が正常に機能しない場合は、極米アフターサービスに相談しまたは修理工場へ返却し修理を依頼する必要があります
- 間違ったタイプのバッテリーと交換すると、爆発する危険があります。使用後のバッテリーは指示に従って処分してください。

## FCC警告

本装置はFCC規則の15部に準拠しています。操作は以下の2つの条件を満たしています、(1)この装置は有害な干渉を生じない、(2)この装置は、偶発的な操作を引き起こす可能性のある干渉を含む、受信した干渉をすべて受け入れる必要があります。ユーザーマニュアルまたは取扱説明書は、法令順守の責任者によって明示的に承認されていないヒートシンクの意図的または意図しない変更および交換によって、ユーザーがデバイスを操作できなくなる可能性があることをユーザーに明示すべき。マニュアルが紙媒体以外の形式で提供されている場合、例えばインターネット経由でコンピュータのディスク上に提供されている場合、ユーザーがそのフォーム情報にアクセスできることを前提として、本セクションが要求される情報は、この代替形式のマニュアルに含めることが必要です

クラスBデジタルデバイスまたは周辺機器の場合、ユーザーに提供される説明には、以下のような記述が含まれ、マニュアル・テキストの目立つ位置に掲載する必要があります

ご注意:本デバイスはテスト済みで、FCC規則の15部に準拠したクラスBデジタル・デバイスの制限に適合していることが確認されています。これらの制限は、住宅で据え付けると有害な干渉を効果的に防止できることを証明するものです。指示に従って取り付けや操作を行わない場合、当該装置は無線周波エネルギーを生成して放射し、無線通信に有害な干渉を及ぼす可能性があります。ただし、特定の据え付け環境で干渉が発生しないと保証できません。このデバイスがラジオやテレビの受信に有害な干渉を及ぼす可能性がある場合(デバイスの電源を入れたり切ったりして確認できます)は、次のいずれかの方法で干渉を修正することができます

- 受信アンテナの向きを変更します
- デバイスと受信機との距離を増やします
- 受信機に接続されている回路とは別の回路のコンセントにデバイスを接続します
- 販売代理店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談します
- 本デバイスは、子機のような役目をし、2.4 GHz (2412~2462MHz) バンドで作動します。



本製品が有害な光を発生する可能性がありますのでご注意ください。FCCID:2AFENXK135





HDMI High-Definition Multimedia interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.

## 使用後の製品とバッテリーの処分

製品は、リサイクル・再使用可能な高品質材料と部品を使用して設計・製造されています。

製品に記載されているシンボルは、欧州指針2012/19/EUの対象製品であることを意味しています。

このシンボルがついている製品は、欧州指針2013/56/EUの対象である内蔵型充電式バッテリーを保有していることを意味しており、これは通常のごみと一緒に処分することはできません。本製品を正式な回収場所またはXGIMIサービスセンターに持って行き、本充電式バッテリーを専門業者によって取り外してもらうようお願いいたします。皆様の地域の電気・電子製品や充電式バッテリーの分別回収システムの情報をご確認ください。地域の規則に従い、本製品および充電式バッテリーを通常のごみと一緒に処分されることがないようにお願いします。使用後の製品と充電式バッテリーを正しく処分することにより、環境や人体への悪影響を防止することができます。

### 警告

- 内蔵バッテリーを取り外すと、保証は無効になり、製品が破損する場合があります。

内蔵バッテリーを取り外す場合は、必ず専門業者に委ねてください。

## 放射線暴露に関する声明

リモコンの場合、この装置は、制御されていない環境に対して規定されたFCC被曝範囲に準拠しコンパイルします

この送信機は、他のアンテナまたは送信機と一緒に配置または操作することはできません。

LEDプロジェクタの場合、制御されていない環境に対して規定されたFCC被曝範囲に準拠しています。本デバイスを取り付け、操作する時に、ヒートシンクと人の体まで距離は20cm以上でなければなりません

注:5150-5250Mhz周波数帯は、屋内用に限定されます

		
BE	HR	AT
BG	IT	PL
CZ	CY	PT
DK	LV	RO
DE	LT	SI
EE	LU	SK
IE	HU	FI
EL	MT	SE
ES	NL	UK
FR		

\* 詳細については、電子マニュアルをご覧ください: [xgimi.com/jp/support/index](http://xgimi.com/jp/support/index)